

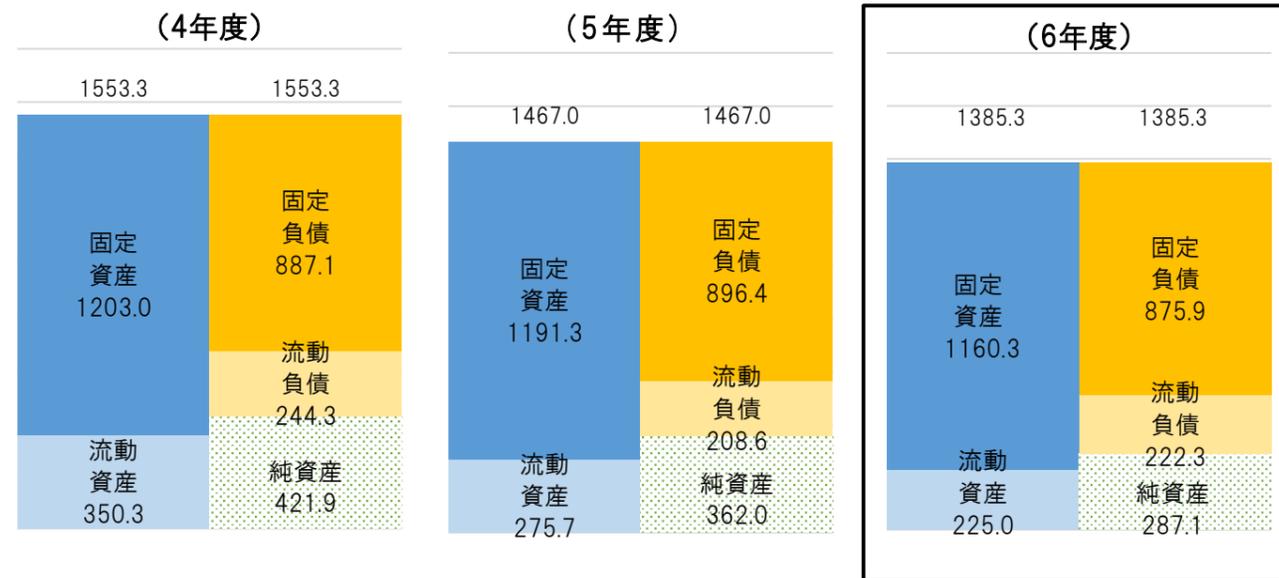
地方独立行政法人大阪府立病院機構 令和6年度決算のポイント

I 財政状況（貸借対照表より）

- 1 資産合計額は 1,385.3 億円（前年度比▲81.7 億円）
⇒ うち土地、建物、器械備品等の有形固定資産は 1,048.3 億円（前年度比▲24.8 億円）
- 2 負債合計額は 1,098.2 億円（前年度比▲6.8 億円）
⇒ うち大阪府からの長期借入金残高は 597.9 億円（前年度比▲22.0 億円）

■ 貸借対照表の推移

(億円)



■ 主な項目の増減(前年比) (億円)

資産の部	負債の部
土地 378.0(▲2.3)	資産見返負債 29.8(▲4.9)
建物 491.1(▲33.7)	長期借入金 551.3(▲23.0)
器械備品 158.1(+11.1)	リース債務 80.6(+8.5)
建設仮勘定 2.4(+1.1)	一年以内返済長期借入金 46.5(+0.9)
現金及び預金 25.9(▲38.9)	医業未払金 53.0(▲1.1)
医業未収金 181.6(▲11.5)	未払金 60.7(+8.3)

■ 長期借入金残高推移 (億円)

	4年度	5年度	6年度	増減
長期借入金	643.0	619.9	597.9	▲22.0
移行前分	2.3	1.3	0.6	▲0.7

■ 純資産の内訳 (億円)

	4年度	5年度	6年度	増減
資本金	213.0	213.0	212.6	▲0.4
資本剰余金	184.2	184.2	184.2	なし
利益剰余金	24.7	▲35.2	▲109.7	▲74.5
計	421.9	362.0	287.1	▲74.9

II 経営成績（損益計算書より）

- 1 本業の売上高を示す『医業収益』は 917.9 億円（前年度比+27.2 億円）
- 2 本業の儲けを示す『営業損益』は 23.6 億円の赤字（前年度比▲8.6 億円）
- 3 営業損益に利息の支払い等を含めた『経常損益』は 70.8 億円の赤字（前年度比▲11.4 億円）
- 4 最終的な儲けを示す『当期総損益』は 74.5 億円の赤字（前年度比▲14.5 億円）

■ 主な項目の推移

(億円)

	4年度	5年度	6年度	増減
医業収益	846.7	890.6	917.9	27.2
運営費負担金収益	70.4	73.9	74.3	0.4
補助金等収益	86.2	13.4	5.4	▲8.1
営業収益	1,010.7	985.6	1004.2	18.6
給与費	438.2	441.8	458.7	16.8
材料費	269.1	295.8	304.3	8.5
減価償却費	88.5	84.2	84.5	0.3
経費	158.9	160.4	161.2	0.8
医業費用	963.5	990.9	1017.4	26.6
営業費用	972.4	1000.6	1027.8	27.1
営業損益	38.3	▲15.0	▲23.6	▲8.6
営業外収益	8.6	8.9	8.9	0.0
財務費用[利息]	2.2	2.7	2.7	0.0
控除対象外消費税	43.1	45.3	47.9	2.6
営業外費用	50.1	53.2	56.1	2.8
経常損益	▲3.1	▲59.3	▲70.8	▲11.4
臨時利益	6.7	0.0	0.0	0.0
臨時損失	9.8	0.6	3.7	3.1
当期総損益	▲6.2	▲60.0	▲74.5	▲14.5

収益面

医業収益

- 患者数の増加に伴う増収
(延べ入院患者数：749,953 人/年、+36,657 人)
- 新型コロナ患者受入れに伴う補助金等収益の減少(▲8.1 億円)

費用面

給与費(医業費用)

- 職員数の増加等に伴う増加

材料費(医業費用)

- 患者数増加に伴う購入数等の増加

減価償却費(医業費用)

- 器械備品の購入増に伴う増加

経費(医業費用)

- 物価高により逡増傾向

■ 経営指標(主なもの) (%)

	4	5	6
給与費比率	52.2	50.0	50.4
材料費比率	31.8	33.2	33.2
経常収支比率	99.7	94.4	93.5
医業収支比率	87.1	89.0	89.3

概況

- 収益面では、新型コロナウイルス感染症に係る空床補償補助金が終了したことにより補助金等収益が減収(前年度比 8.1 億円減)となる一方、患者数の増加等による増収(前年度比 27.2 億円増)により、営業収益は前年度比 18.6 億円の増収。費用面では、職員数の増加等に伴う給与費の増加や、患者数増加に伴う材料費や委託料等経費の増加により、営業費用が前年度比 27.1 億円増加したため、営業損益は 23.6 億円の赤字となり、前年度比で 8.6 億円悪化。
- 利息や消費税の支払い等の営業外費用を加味した経常損益では、控除対象外消費税等が増加し、経常損益では 70.8 億円の損失を計上。

III キャッシュフロー

(億円)

	期首残高	業務活動	投資活動	財務活動	期末残高	資金増加(▲減少)
4年度	182.6	10.6	▲198.8	92.9	87.2	▲95.4
5年度	87.2	69.9	▲48.4	▲43.8	64.8	▲22.3
6年度	64.8	25.8	▲22.9	▲41.9	25.9	▲38.9

IV 行政コスト計算書

(億円)

	6年度
行政コスト	1,087.5
[参考] 運営費負担金収益	74.3

- 法人の業務運営に関し、最終的に住民等の負担となるすべてのコストを集約し、表示したもの。